

# 地域の実情に配慮した制度設計の提案

条件不利地域や林業が主要産業である地域など、地域の実情に応じてきめ細かく柔軟に予算配分ができるような支援策の制度設計をしていただくことが必要です。

## 現行制度

森林・林業再生基盤づくり交付金指標得点  
(高性能林業機械等の整備)

### ①生産量の伸び率(全体指標・個別指標)

①素材生産量(増加率[%])		
15%未満	.....	2ポイント
15%以上 ~ 30%未満	.....	4ポイント
30%以上 ~ 45%未満	.....	6ポイント
45%以上 ~ 60%未満	.....	8ポイント
60%以上	.....	10ポイント

### ②生産性(全体指標・個別指標)

②素材生産性(目標値[m <sup>3</sup> /人・日])		
6.00m <sup>3</sup> /人・日未満	.....	2ポイント
6.00m <sup>3</sup> /人・日以上 ~ 7.00m <sup>3</sup> /人・日	.....	4ポイント
7.00m <sup>3</sup> /人・日以上 ~ 8.00m <sup>3</sup> /人・日	.....	6ポイント
8.00m <sup>3</sup> /人・日以上 ~ 9.00m <sup>3</sup> /人・日	.....	8ポイント
9.00m <sup>3</sup> /人・日以上	.....	10ポイント

### ③都道府県優先得点

・各都道府県で2件を選定し、それぞれ6点を加算

## 課題

### ①生産量の伸び率

・これまでに増産を達成してきた事業体が、さらなる拡大を目指す場合に評価が低く出る

(例)

現状値	目標値	伸び率	得点	(増加量)
1,000m <sup>3</sup>	3,000m <sup>3</sup>	200%	10	2,000m <sup>3</sup>
25,000m <sup>3</sup>	30,000m <sup>3</sup>	20%	4	5,000m <sup>3</sup>

### ②生産性

・地形が急峻な地域にとってはハードルが高い  
・伸び率が考慮されていないことから、仮に生産性が低下しても9.0m<sup>3</sup>/人・日以上あれば10ポイント得られることとなっている。

(例)

現状値	目標値	得点	伸び率
3.0m <sup>3</sup> /人・日	4.5m <sup>3</sup> /人・日	2	150%
7.7m <sup>3</sup> /人・日	8.0m <sup>3</sup> /人・日	8	104%
10.0m <sup>3</sup> /人・日	9.0m <sup>3</sup> /人・日	10	90%

### ③都道府県優先得点

・各県一律2件とされており、林業の基幹産業としての位置付けや要望件数など、地域の実情が考慮されないこととなっている

## 改善提案

### ○生産量の増加量と生産性の伸び率も加味した指標が必要

・生産量の規模が大きい事業体のさらなる拡大を図る取組を評価していただけるよう、生産量の増加量でも評価されるように改善していただきたい

・条件が不利な地域における生産性を高める取組を評価していただけるよう、伸び率でも評価するように改善していただきたい



### ○各県の林業の実態を考慮した指標(視点)が必要

・例えば、県就業者数に占める林業就業者数の割合や森林率など、林業が主要な産業となっている地域について配慮するように改善していただきたい